

令和4年度
事業報告書

社会福祉法人豊川市社会福祉協議会

第1 事業実施概要

令和4年度は、「重層的支援体制整備への移行準備事業」を始め様々な事業を豊川市から受託し、行政とともに地域福祉の推進に取り組みました。

また、第3次地域福祉計画（第4次地域福祉活動計画）の見直しを行い、住民の持つ福祉ニーズと地域課題を整理し、第4次地域福祉計画（第5次地域福祉活動計画）を豊川市と一体的に策定しました。

1 重層的支援体制整備事業への移行準備事業の受託

改正社会福祉法に基づき、市町村において相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に行う重層的支援体制整備事業が創設され、豊川市から委託を受け、重層的支援体制整備事業への移行準備事業を実施しました。

また、市内10カ所の地域包括支援センター及びその出張所に配属されたコミュニティソーシャルワーカー（CSW）が属性によらない福祉の相談窓口として機能し、多機関協働による包括的支援の実施と重層的支援体制整備事業へ移行するための取り組みを推進しました。

2 第4次地域福祉計画（第5次地域福祉活動計画）の策定

第3次地域福祉計画（第4次地域福祉活動計画）について、令和3年度に実施した地域福祉活動者に対するアンケート調査等の結果をもとに、住民の持つ福祉ニーズや地域課題を整理し、第4次地域福祉計画（第5次地域福祉活動計画）を豊川市と一体的に策定しました。

3 新型コロナウイルス感染症予防に対応した事業展開

本会が行う様々なイベントや講座事業等において、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底しながら、実施しました。オンラインや動画配信など対面によらない実施方法を工夫し、コロナ禍であっても滞りなく事業を展開しました。

4 緊急小口資金等の特例貸付事業相談の継続実施

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための緊急小口資金等の特例貸付事業を、引き続き愛知県社協から委託を受け貸付相談を実施しました。

第2 事業の実施状況

◆ 社会福祉事業区分

1 法人運営事業

(1) 法人運営事業

① 理事会・評議員会等の開催

次のとおり理事会・評議員会等を開催しました。

第1回理事会 令和4年6月7日 豊川市社会福祉会館

議事

議案第1号 令和3年度社会福祉法人豊川市社会福祉協議会事業報告について

議案第2号 令和3年度社会福祉法人豊川市社会福祉協議会一般会計決算について

- 議案第3号 令和4年度社会福祉法人豊川市社会福祉協議会定時評議員会の日時及び場所並びに提出議案について
- 議案第4号 社会福祉法人豊川市社会福祉協議会理事候補者の提案について
- 議案第5号 社会福祉法人豊川市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について
- 議案第6号 社会福祉法人豊川市社会福祉協議会評議員候補者の推薦の提案及び評議員選任・解任委員会の日時及び場所について
- 議案第7号 社会福祉法人豊川市社会福祉協議会表彰規程の一部改正について
- 報告第1号 社会福祉法人豊川市社会福祉協議会職員給与等支給規程の一部改正に係る専決処分の報告について
- 報告第2号 会長及び常務理事の職務の執行状況について
- 第2回理事会 令和4年6月17日 書面表決
議事
- 議案第8号 令和4年度社会福祉法人豊川市社会福祉協議会一般会計補正予算(第1号)について
- 第3回理事会 令和4年12月13日 豊川市社会福祉会館
議事
- 議案第9号 社会福祉法人豊川市社会福祉協議会理事候補者の提案について
- 議案第10号 社会福祉法人豊川市社会福祉協議会経理規程の一部改正について
- 議案第11号 令和4年度社会福祉法人豊川市社会福祉協議会第2回評議員会の日時及び場所並びに提案議案について
- 報告第3号 社会福祉法人豊川市社会福祉協議会育児休業等規程等の一部を改正する規程の制定に係る専決処分の報告について
- 報告第4号 会長及び常務理事の職務の執行状況について
- 第4回理事会 令和4年12月21日 豊川市社会福祉会館
(対面及びオンライン開催)
議事
- 副会長の選定について
- 議案第12号 社会福祉法人豊川市社会福祉協議会職員給与等支給規程の一部改正について
- 第5回理事会 令和5年3月17日 豊川市社会福祉会館
議事
- 議案第13号 社会福祉法人豊川市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について
- 議案第14号 社会福祉法人豊川市社会福祉協議会特別職員賃金等支給規程の一部改正について
- 議案第15号 令和5年度社会福祉法人豊川市社会福祉協議会事業計画につき同意を求めることについて

- 議案第16号 令和5年度社会福祉法人豊川市社会福祉協議会一般会計予算につき同意を求めることについて
- 議案第17号 役員賠償責任保険の加入について
- 議案第18号 令和4年度社会福祉法人豊川市社会福祉協議会第3回評議員会の日時及び場所並びに提案議案について
- 議案第19号 社会福祉法人豊川市社会福祉協議会就業規則等の一部を改正する規則の制定について

定時評議員会 令和4年6月22日 豊川市社会福祉会館
(対面及びオンライン開催)

議事

議事録署名人の選任

議案第1号 令和3年度社会福祉法人豊川市社会福祉協議会事業報告について

議案第2号 令和3年度社会福祉法人豊川市社会福祉協議会一般会計決算について

議案第3号 理事の選任について

議案第4号 令和4年度社会福祉法人豊川市社会福祉協議会一般会計補正予算(第1号)について

第2回評議員会 令和4年12月21日 豊川市社会福祉会館
(対面及びオンライン開催)

議事

議事録署名人の選任

議案第5号 理事の選任について

第3回評議員会 令和5年3月27日 豊川市社会福祉会館
(対面及びオンライン開催)

議事

議事録署名人の選任

議案第6号 社会福祉法人豊川市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について

議案第7号 令和5年度社会福祉法人豊川市社会福祉協議会事業計画につき承認を求めることについて

議案第8号 令和5年度社会福祉法人豊川市社会福祉協議会一般会計予算につき承認を求めることについて

第1回監事会 令和4年5月31日 豊川市社会福祉会館

監事監査

理事の業務の執行状況及び財産状況の監査について

関連通帳等の確認について

第1回評議員選任・解任委員会 令和4年6月24日 豊川市社会福祉会館
 議事
 議案第1号 評議員の選任について

② 法人運営に係る人件費・事務費等

法人運営に必要な人件費を経理するとともに、効率的な事務の遂行に努めました。

2 企画・広報事業

(1) 会員募集事業

市民及び市内法人に対し、町内会等の協力を得て会員募集を行い、多くの方々にご加入いただきました。

区 分	4年度	3年度	比 較
普通会員	22,250世帯	21,539世帯	711世帯
特別会員	370世帯	317世帯	53世帯
賛助会員	721人	758人	△37人
法人会員	266事業所	228事業所	38事業所
施設会員	11施設	10施設	1施設

会費収入額

区 分	4年度	3年度	比 較
普通会員	11,137,260円	10,792,700円	344,560円
特別会員	370,000円	335,000円	35,000円
賛助会員	726,000円	778,000円	△52,000円
法人会員	1,169,000円	1,048,890円	120,110円
施設会員	23,000円	28,000円	△5,000円
合 計	13,425,260円	12,982,590円	442,670円

(2) 顕彰・表彰事業

12月10日（土）に豊川市文化会館において、第40回豊川市社会福祉功労者顕彰式を開催し、多年にわたり社会福祉の増進に寄与した方々に表彰状又は感謝状を贈呈しました。

区 分	4年度	3年度	比 較
表彰	21人	14人	7人
	—	1団体	△1団体
	3委員会	3委員会	—
感謝	142人	75人	67人
	5団体	4団体	1団体
	2町内会	4町内会	△2町内会

(3) 広報・啓発事業

社協だより、社協PRパンフレット、ホームページ等
社協だよりを年4回発行するとともに、町内会の協力を得てパンフレットを配付し、社協事業のPRを行いました。また、ホームページやSNSを活用し、様々な社協活動の情報を発信しました。

3 福祉活動推進事業

(1) 地域福祉懇談会事業

概ね連区を単位に地域福祉懇談会（第2層協議体）を開催し、住民同士が互いに助け合うための仕組みづくりやコロナ禍における活動方法等について意見交換を行いました。また、令和5年3月に行政とともに策定した第4次豊川市地域福祉計画（第5次豊川市地域福祉活動計画）における「地域の取り組み」についても話し合いました。

区 分	4年度	3年度	比 較
地域福祉懇談会 (第2層協議体)	35地区 454人	25地区 335人	10地区 119人

※第2層協議体とは、住民同士が地域の課題について話し合い、地域の中でできることを住民が主体となって考えていく場であり、厚生労働省がその取り組みを推進しています。

(2) 地域福祉活動推進委員会助成金事業

27地区の地域福祉活動推進委員会に助成金を交付し活動を支援することにより、住民相互の助け合いや交流の輪を広げ、共に支えあう地域づくりを推進しました。感染予防対策等に関する情報提供や代替活動を助成対象とするなどの対応を図ることで、コロナ禍における地域福祉活動推進委員会の活動を支援しました。

【地域福祉活動推進委員会の活動状況及び助成額】

区 分	4年度	3年度	比 較
委員会数	27委員会	27委員会	—
見守り 支えあ い活動	実施地区数	111地区	117地区 △6地区
	延実施回数	5,496回	5,886回 △390回
	延訪問者数	15,060人	11,730人 3,330人
ふれあ いサロ ン活動	実施地区数	120地区	115地区 5地区
	延実施回数	1,959回	1,399回 560回
	延利用者数	29,499人	20,515人 8,984人
助 成 額	6,390,000円	6,086,000円	304,000円

(3) 地域福祉活動推進委員会連絡会事業

地域福祉活動推進委員会相互の情報交換の機会をつくることを目的に、連絡会を開催し、コロナ禍における活動の紹介等を行いました。

区 分	4年度	3年度	比 較
連絡会	2回	1回	1回

(4) 子育て支援事業

子育て中の家庭を対象に子育てヘルパーを派遣し、日常生活の援助を行いました。

区 分	4年度	3年度	比 較
利用者実数	1世帯	1世帯	—
延派遣回数	4回	2回	2回
延派遣時間数	4時間	2時間	2時間

(5) 福祉機器リサイクル事業

福祉機器のリサイクルに関する情報を提供することにより、福祉機器の有効活用を図るとともに、障害者及び高齢者の福祉増進を図りました。

【リサイクル成立実績】

区 分	4年度	3年度	比 較
車イス	2件	1件	1件
シャワーチェア	1件	1件	—
杖	2件	1件	1件
ポータブルトイレ	1件	2件	△1件
シルバーカー	1件	1件	—
すべり止めマット	—	1件	△1件
合 計	7件	7件	—

(6) 地域型通所サービス事業

音羽地区地域福祉活動推進委員会やボランティアと協働しながら、概ね週1回の元気アップ喜和会（地域型通所サービス事業）を開催し、高齢者の健康づくりや居場所づくりを推進しました。

区 分	4年度	3年度	比 較
延べ開催数	44回	27回	17回
延べ参加者数	764名	447名	317名
（内延べ要支援・事業対象者）	158名	130名	28名

4 高齢者居宅介護等事業（市受託事業）

(1) 高齢者居宅介護等事業

介護保険制度の対象とならない高齢者に対してホームヘルパーを派遣し、介護等の日常生活の援助を行いました。

区 分	4年度	3年度	比 較
利用者実数	1人	1人	—
延派遣回数	5回	21回	△16回
延派遣時間数	5時間	21時間	△16時間

(2) 生活管理指導員派遣事業

基本的な生活習慣の欠如や対人関係が成立しない等、社会適応が困難な高齢者に対し、生活管理指導員を派遣し、家事等日常生活に対する指導・支援等を行いました。

区 分	4年度	3年度	比 較
利用者実数	3人	—	3人
延派遣回数	46回	—	46回
延派遣時間数	45.25時間	—	45.25時間

5 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

判断能力が不十分な人が、自立した地域生活を送ることができるよう、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理、書類等の預かりを行いました。

【利用者数】

区 分	4年度	3年度	比 較
利用者数	76人	68人	8人
延べ利用者数	872人	798人	74人
延べ利用者数内訳	認知症高齢者217人	認知症高齢者251人	△34人
	知的障害者326人	知的障害者281人	45人
	精神障害者329人	精神障害者266人	63人

相談援助件数（延べ）

区 分	4年度	3年度	比 較
相談援助件数	4,677件	2,842件	1,835件

6 ひとり親家庭等日常生活支援事業（市受託事業）

ひとり親家庭等を対象に保護者の病中・病後等における子どもの保育、食事の世話、掃除等の生活支援を行い、安心して子育てができる環境を整えるものですが、令和4年度は実績がありませんでした。

7 ボランティアセンター活動事業

(1) 講座開催事業

① 講座事業

区 分	4年度	3年度	比 較
手話奉仕員養成講座（入門）【連続20回】	17名	15名	2名
一日手話体験講座【全4回】	延40名	中止	—
聞こえのサポート教室 【連続5回】	3名	—	隔年開催
音訳ボランティア養成講座【連続10回】	5名	—	3年に1回
傾聴ボランティア養成講座（全員参加）	16名	38名	△22名
傾聴ボランティア養成講座（希望者のみ）	8名	—	—
傾聴ボランティアフォローアップ講座	10名	—	—

② 青少年ボランティア体験学習事業

中高生を対象に、福祉教育の一環として、地域にある福祉施設やボランティア団体でのボランティア活動を通して、「自らも地域の一員である」という意識啓発を行いました。

区 分	4年度	3年度	比 較
青少年ボランティア体験学習	61名	中止	—

③ ボラたま隊

小学生高学年を対象に、優しい気持ちで豊かな地域づくりのために活躍する「ボランティアのたまご」を育てることを目的とし、令和4年度は「高齢者とわたしたち」をテーマに、座学、認知症のVR体験や地域のサロンボランティアと交流を通して、高齢者福祉を学びました。

区 分	4年度	3年度	比 較
ボラたま隊	5名	中止	—

(2) 児童向け福祉啓発読本発行事業

「はじめてボランティアに興味を持った時に開く本」として、市内小学5年生を対象に配布する小冊子です。より読みやすい内容に近づけるため、中部小学校児童会を中心とした編集委員会を組織し、3年に一度の改訂を実施しました。また、各学校の要望に応じて、紙面及び電子双方にて配布しました。

(3) ボランティアセンター運営事業

① ボランティアセンター運営委員会の開催

ボランティアセンター事業の円滑な運営を図り、多方面からの声を聴取するため、ボランティアセンター運営委員会を開催しました。

第1回 令和4年 5月25日（月）

第2回 令和4年12月12日（月）

② ボランティア活動保険加入促進

安心してボランティア活動を行うため、ボランティア活動保険の加入を受付しました。また、小・中・高生を対象にボランティア活動保険掛金（基本Aプランのみ）の助成を行いました。本会ホームページにおいて周知しました。

区 分	4年度	3年度	比 較
加入者数	2,248人	1,735人	513人

③ ボランティア・市民活動相談

地域住民からのボランティア活動相談に対応するとともに、ボランティア団体定例会への出席など、ボランティア活動に起因するニーズ把握に努めました。

区 分	4年度	3年度	比 較
相談件数	174件	225件	△51件

④ ボランティア登録者数

区 分	4年度	3年度	比 較
ボランティア団体数	308団体	314団体	△6団体
ボランティア団体人数	12,489人	13,040人	△551人
個人ボランティア人数	242人	76人	166人

⑤ ボランティア連絡協議会助成金

ボランティア団体間の連携・交流を図るために組織された豊川市ボランティア連絡協議会に対し、助成金を交付し、活動を支援しました。

⑥ 防災ボランティアコーディネーター養成事業

豊川市危機管理課及び防災ボランティアコーディネーターの会と協働して、防災ボランティアコーディネーター養成講座修了者を対象に、実践的な知識と行動に係る理解を高めるためにフォローアップ講座を開催しました。

区 分	4年度	3年度	比 較
防災ボランティアコーディネーター養成講座 ※各年開催	15人	—	—
防災ボランティアコーディネーターフォローアップ講座 ※年2回開催	29人	16人	13人

⑦ 福祉イベントへの参加

イベントに参加し、市民に対しボランティア・市民活動の普及・啓発を行いました。

ア 豊川市民まつり「おいでん祭」への参加

豊川市総合体育館・豊川市野球場周辺

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となりました。

イ 第30回東三河ボランティア集会への参加

令和5年3月5日（日）蒲郡市民会館

午前9時15分から午後3時30分まで（参加者86名 出展団体数 11団体）

東三河（5市2町1村）ブロックのボランティア団体が集まり、活動紹介及び発表を通して相互交流を図りました。

8 貸付金事業

(1) 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

民生委員と連携して、低所得世帯等の自立を助長するため、生活福祉資金の貸付事業を実施しました。

区 分		4年度		3年度		比 較	
		件数	貸付金額	件数	貸付金額	件数	貸付金額
生活福祉資金	福祉資金	—	—	—	—	—	—
	教育支援資金	14件	10,823,000円	7件	13,031,000円	7件	△2,208,000円
	緊急小口資金	—	—	—	—	—	—

(2) 暮らし資金貸付事業（県社協受託事業）

低所得者世帯の生活資金や医療費などの一時的な出費に対し、生活の安定を図るための暮らし資金貸付事業について、令和4年度は実績がありませんでした。

(3) 小口資金貸付事業

低所得世帯に対し、緊急かつ一時的に必要な資金の貸付を行い生活の安定を図るため、小口資金貸付事業を実施しました。

区 分		4年度		3年度		比 較	
		件数	貸付金額	件数	貸付金額	件数	貸付金額
小口資金		31件	663,000円	41件	870,000円	△10件	△207,000円

(4) 特例貸付事業（県社協受託事業）※令和4年9月30日で終了しました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、休業や失業等により生活費にお困りの方へ貸付対象を低所得世帯以外に拡大し、緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付を実施しました。

区 分		4年度		3年度		比 較	
		件数	貸付金額	件数	貸付金額	件数	貸付金額
緊急小口資金		140件	27,750,000円	459件	88,770,000円	△319件	△61,020,000円
総合支援資金		127件	65,850,000円	458件	255,174,000円	△331件	△189,324,000円

9 共同募金配分金事業（一般配分金事業）

愛知県共同募金会から、一般募金の配分金を受け、事業を実施しました。

区 分	4年度	3年度	比 較
一般配分金	14,119,268円	14,837,504円	△718,236円

(1) 広報啓発事業

① 地域福祉活動の啓発

ア 社協 Facebook における地域福祉活動の配信

ふれあいサロン活動をはじめとする地域福祉活動の様子を、社協 Facebook で配信（19件）しました。

イ ふれあいサロン啓発ポスター及びポケットティッシュの作成・配布

ふれあいサロン啓発ポスターを作成し、「生活支援ガイドブック」掲載事業所や社協相談窓口、公共施設を中心に、市内155カ所に掲示を依頼しました。

また、ふれあいサロン活動の啓発チラシ入りポケットティッシュを作成し、各種イベントや地域での見守り活動を通じて配布しました。

ウ ふれあいサロン活動啓発チラシの更新・配布

中学校区ごとのふれあいサロン活動をまとめた啓発チラシを更新し、地域包括支援センターの窓口や地域での見守り活動等を通じて配布しました。

エ 社協ホームページでの啓発

地域福祉懇談会（第2層協議体）の様子を掲載し、地域活動の普及啓発を図りました。

② 社会資源情報の啓発

高齢者等の生活に役立つ社会資源の情報を社協ホームページや介護保険事業者連絡協議会が実施する「Zoom 公民館」（Web 上での情報共有の場）で啓発しました。（年4回）

(2) 高齢者福祉活動推進事業

① 高齢者福祉週間事業

高齢者福祉週間に満100歳以上の方を祝福訪問し、祝品を贈りました。

区 分	4年度	3年度	比 較
満100歳以上	108人	129人	△21人

② 認知症高齢者等地域生活支援事業

認知症等により服薬管理ができない方に対し、お薬カレンダーを配付することで服薬管理の手助けを行い、在宅生活の継続を支援しました。また、電子連絡帳※やいきいき元気メール※を活用しながら、事業の周知啓発を行いました。

区 分	4年度	3年度	比 較
お薬カレンダー配付枚数	144枚	143枚	1枚

※電子連絡帳とは、医療と介護の連携を強化するために開発されたICTツールです。

※高齢者の生活に役立つ情報を市から「いきいき元気メール」として定期的に配信しています。

③ 老人クラブ連合会助成金

老人クラブ連合会の活動に対し、助成金を交付し、高齢者福祉を推進しました。

区 分	4年度	3年度	比 較
助成額	369,000円	179,000円	190,000円

④ 会食・配食サービス活動助成金

一人暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯等への会食・配食ボランティア活動を支援しました。また、コロナ禍で市民館等での飲食が制限される状況から食事を伴わない代替活動を奨励するとともに、保健所職員による衛生に関する講話を含む交流会を開催し、活動の再開、継続に向けた支援を行いました。

区 分	4年度	3年度	比 較
ボランティア団体数	6団体	6団体	—
延実施回数	57回	43回	14回
延利用者数	838人	608人	230人
助成額	188,000円	172,600円	15,400円

(3) 障害者（児）福祉活動推進事業

① 車イス貸出事業

障害者や高齢者等に対し、車イスを貸し出すことにより、日常生活の便宜を図りました。

区 分	4年度	3年度	比 較
車イス貸出件数	453件	311件	142件

② 障害者団体助成金

障害者（児）福祉関係団体に助成金を交付し支援しました。

区 分	4年度	3年度	比 較
身体障害者福祉連合会	720,000円	720,000円	—
知的障害者育成会	360,000円	360,000円	—
肢体不自由児（者）父母の会	90,000円	90,000円	—
精神障がい者家族会むつみ会	70,000円	21,252円	48,748円

③ 障害者（児）福祉推進事業助成金事業

豊川市障害者（児）団体連絡協議会が中心となり企画する事業に対して、本会から事業費支援を行っています。令和4年度は一日社会見学を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため令和5年度に延期をしました。

④ 愛知県聴覚障害者大会助成金

県下の聴覚障害者が一堂に会し、聴覚障害者の福祉向上、文化生活の諸問題を協議し、今後の運動方針を確立するとともに、福祉の増進と団体強化を図ることを目的に第38回愛知県聴覚障害者大会が開催されました。大会に要する経費に対し、助成金を交付しました。

区 分	4年度
助成額	30,000円

⑤ 声のたより・声の社協だより・点字社協だより

社協だよりの掲載情報を、利用者のニーズに合わせて音訳または点訳にて提供しました。編集作業は、音訳ボランティア「こだまの会」、点訳サークル「あめんぼうの会」、小坂井点訳サークル「ほたるの会」に業務委託しています。

⑥ 福祉車両貸出事業

車イス対応の福祉車両3台（きつね号・いなり号・たぬき号）を車イスの利用が必要な方々の社会参加やふれあいサロン・会食会での活用を目的に貸し出しました。

区 分	4年度	3年度	比 較
利用件数	109件	66件	43件

(4) 児童・青少年福祉活動推進事業

① 福祉実践教室

児童・生徒が希望する分科会にて、体験学習を通じて、福祉への興味関心を高めることを目的に、車いすの介助体験、手話体験、要約筆記体験、ガイドヘルプ体験など、主に障害者分野の福祉教育を推進しました。

区 分	4年度	3年度	比 較
福祉実践教室【小学校】	26校	22校	4校
福祉実践教室【中学校】	2校	2校	—

② 福祉教育担当者連絡会

子どもたちを対象にした本会の福祉事業について、担当教員に紹介するとともに、福祉実践教室に携わるボランティアとの交流を設けました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、対面参加とオンライン参加を併用して実施しました。

③ あかいはね子どもの遊び場維持管理事業

児童健全育成のためあかいはね子どもの遊び場10か所を町内会及び団体の協力により管理運営しました。（国府大社、小田渕本郷、為当稲荷神社、桜町、正岡、三上勝山、三上野地、千両小路、六角、西島）

④ 児童養護施設体育大会開催費助成金事業

東三河児童福祉施設長会が開催する東三河児童福祉施設体育大会に要する経費に対し、助成金を交付しました。

区 分	4年度	3年度	比 較
助成額	10,000円	中止	—

⑤ おもちゃ図書館事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、おもちゃ貸出及びおもちゃ病院のみとし、開館しました。(開館日：第2・4土曜日の午後2時から4時まで)

区 分	4年度	3年度	比 較
開催日数	24日	22日	2日
利用者	342人	235人	107人

⑥ 地域子育て相談事業

東部及び西部地域福祉センターに子育て家庭等を対象とした相談窓口を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言を行うことにより、地域の子育て機能の向上を図るとともに、子育ての不安等を緩和することで、こどもの健やかな成長を促進しました。また、子育てサロン交流会を開催し、市内の子育てサロン活動者相互の活動紹介や活動に関する意見交換を行い、交流を深めました。

	区 分	4年度	3年度	比 較
東部	開催回数	23回	17回	6回
	利用件数	225件	139件	86件
	相談件数	48件	47件	1件
西部	開催回数	21回	18回	3回
	利用件数	169件	139件	30件
	相談件数	61件	33件	28件

(5) 地域福祉活動推進事業

① ふれあい活動備品貸出事業

町内会・社会福祉施設・ボランティア団体等が開催するイベントで使用する機材を無料で貸し出し、地域住民相互の交流や、地域と社会福祉施設等との交流を図りました。

区 分	4年度	3年度	比 較
綿菓子機	16件	7件	9件
ポップコーン機	13件	2件	11件
テント	6件	2件	4件
レクリエーション機材	165件	76件	89件

② 地域福祉活動備品等購入費用助成金事業

「介護予防型・参加者主体型」の地域福祉活動を推進するため、そうした活動に必要な備品の購入費用について助成金を交付し、活動の支援を行いました。

区 分	4年度	3年度	比 較
団体数	5団体	2団体	3団体
助成額	180,000円	80,000円	100,000円

③ 地域福祉活動者研修事業

オンラインの活用や地域包括支援センターの担当圏域別で開催するなど工夫をしながら、福祉委員や地域福祉活動を実践するボランティアを対象とした各種研修会を開催しました。

区 分		4年度	3年度	比 較
地域福祉活動者新任者研修	回 数	4回	4回	—
	参加人数	64人	60人	4人
フォローアップ研修	回 数	2回	2回	—
	参加人数	145人	135人	10人
地域福祉活動者交流会	回 数	2回	2回	—
	参加人数	110人	44人	66人

④ ふれあいサロン活動推進事業

感染症予防対策等に関する情報提供や代替活動を助成対象とするなどの対応を図りながら活動支援を行いました。(地域福祉活動推進委員会設置地区については、委員会を通じてふれあいサロン活動を支援しています。)

区 分	4年度	3年度	比 較
ふれあいサロン数	6サロン	6サロン	—
延実施回数	163回	163回	—
延利用者数	1,545人	1,664人	△119人
助 成 額	174,000円	168,000円	6,000円

⑤ ふれあい電話訪問事業

ふれあい電話訪問相談員を委嘱し、一人暮らし高齢者等に週1回(毎週月・水・金曜日の午前)電話をして、安否確認や生活相談を行いました。(登録者 42件)

区 分	4年度	3年度	比 較
実施日数	147日	144日	3日
電話訪問件数	2,123件	1,742件	381件

⑥ 隣近所のふれあい推進協働事業

隣近所の助け合いのきっかけづくりにするため、ひまわりをご近所で育てる「フラワーキャンペーン」や隣近所の人と一緒にふれあう姿を撮影した「フォトコンテスト」を実施し、広く地域福祉の推進を図りました。

ア フラワーキャンペーンの実施

ひまわりの種子をひまわり農業協同組合様からご寄贈いただき、サロン活動をはじめ、農協本店及び社協各事務所を通じ、市内全域へ3,000袋配布しました。

イ フォトコンテストの実施

隣近所の人と一緒にふれあう姿を撮影した写真を募集し、計29作品の応募をいただきました。入賞作品は、歳末たすけあい配分金事業で作成しているカレンダーに掲載しました。

⑦ 民生委員児童委員協議会助成金

民生委員児童委員協議会の活動を助成し、支援するとともに、地区民生委員児童委員協議会との連携を強化しました。

区 分	4年度	3年度	比 較
助成額	345,485円	198,679円	146,806円

⑧ 社会福祉施設協会助成金

市内の社会福祉施設の連携を深めるため、社会福祉施設協会の活動に対し、助成金を交付しました。

区 分	4年度	3年度	比 較
助成額	10,000円	中止	—

⑨ 地域ふれあい事業助成金

社会福祉施設や福祉関係団体が実施する地域住民とのふれあい事業に対し、助成金を交付することにより、相互理解、地域住民の福祉意識高揚及び要援護者の社会参加を図りました。

区 分	4年度	3年度	比 較
団体数	2法人	2法人	—
助成額	100,000円	100,000円	—

⑩ 地域福祉活動推進セミナーの開催

地域住民の福祉意識の高揚と身近な地域でのふれあい・支えあい活動を進めるまちを目指すため、年に1回セミナーを開催しています。令和4年度は「地域から孤立をなくすために～私たちができる見守り～」をテーマとして、日ごろからのあいさつや声かけが地域の見守りにどのような効果をもたらすのか、顔の見える関係づくりや地域での見守り意識を高めるために日常生活の中で何ができるかを知る機会としました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンラインでも参加できる方法で実施しました。

・実施日及び場所

令和5年2月18日（土） 豊川市御津文化会館（ハートフルホール）

・内 容 「地域から孤立をなくすために～私たちができる見守り～」

講 師 福定 正城 氏

（日本福祉大学健康社会研究センター 客員研究所員）

・参加人数 123名（会場参加：100名、オンライン参加：23名）

⑪ 福祉出前講座事業

福祉委員やボランティアをはじめとする地域福祉活動者の知識向上を図るとともに、住民の福祉意識を高めるため福祉出前講座を開催しました。

区 分	4年度	3年度	比 較
福祉出前講座	106回	72回	34回

⑫ ふれ愛・みんなのフェスティバルの開催費助成事業

令和4年10月30日（日）午前10時から午後1時まで
ボランティア・市民活動団体及び障害者等の当事者団体が一堂に会し、市民への啓発と交流を深めるフェスティバルの開催費を助成しました。

⑬ 地域福祉活動費助成事業（公開プレゼンテーション事業）

「赤い羽根共同募金運動」の理念と用途について地域住民へ啓発し、これに加えて、とよかわボランティア市民活動センター登録団体や当事者団体が行う地域福祉に寄与する事業へ、上記募金を財源とした助成金を交付しました。

助成金交付までに、二回の審査を設け、第二次審査の様子は地域住民へ公開しており、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、Facebookにてオンライン配信しました。

区 分	4年度	3年度	比 較
団体数	6団体	8団体	△2団体
助成額	299,280円	357,788円	△58,508円

⑭ たすけあい援護費助成事業

社会福祉事務所を通じ、生活困窮者一時扶助、旅費欠乏者へ移動費の支給など、低所得者援護事業を実施するとともに、社会福祉会館において、生活困窮者等に対し、生理用品を配付しました。

また、新型コロナウイルス感染者や濃厚接触者になり外出ができない障害者等の世帯に対し、やむを得ない場合に食料調達支援を行いました。

⑮ 災害等対策事業

令和4年11月13日（日）午前9時から午後1時まで
豊川市国際交流協会、穂の国まちづくりネットワークと協力し、災害における各々の役割を確認、共有するとともに、防災センターの見学等通して災害ボランティアセンターに関する知識を深めました。

区 分	4年度	3年度	比 較
災害ボランティアセンター研修	20名	中止	—

10 共同募金配分金事業（歳末たすけあい配分金事業）

愛知県共同募金会から歳末たすけあい募金の配分金を受け、事業を実施しました。

区 分	4年度	3年度	比 較
歳末たすけあい配分金	695,708円	583,188円	112,520円

在宅で支援を必要とする要援護者に対し、民生委員児童委員の協力のもと、年末の見守り訪問活動を行うとともに、相談機関の連絡先を載せたカレンダー等の配付を行いました。

区 分	4年度	3年度	比 較
ひとり親家庭児童	—	3人	△3人
一人暮らし高齢者	4,683人	4,832人	△149人
障害者（児）	402人	403人	△1人

11 シルバーハウジングLSA事業（市受託事業）

生活援助員（ライフサポートアドバイザー）を配置し、シルバーハウジング（県営諏訪住宅、市営諏訪西住宅、県営牛久保住宅、県営稲荷北住宅）入居高齢者の安否確認等を行いました。

【対象世帯数】

区 分	4年度	3年度	比 較
県営諏訪住宅	48世帯	54世帯	△6世帯
市営諏訪西住宅	7世帯	7世帯	—
県営牛久保住宅	18世帯	18世帯	—
県営稲荷北住宅	10世帯	10世帯	—

【高齢者世話付住宅派遣件数】

区 分	4年度	3年度	比 較
県営諏訪住宅	2,752件	2,782件	△30件
市営諏訪西住宅	361件	406件	△45件
県営牛久保住宅	1,093件	1,099件	△6件
県営稲荷北住宅	511件	521件	△10件

12 老人福祉センター事業（市指定管理）

(1) ふれあいセンター管理

高齢者の健康増進・生きがいつくり・世代間交流の場を提供し、高齢者を始めとする地域住民の福祉向上を図るため、指定管理者としてふれあいセンター、市民健康広場及び四季の森の管理を行いました。

【開館日数、入館者数及び入浴者数】

区 分	4年度	3年度	比 較
開館日数	308日	308日	—
入館者数	136,394人	145,096人	△8,702人
入浴者数	67,068人	77,666人	△10,598人

【団体利用日数（老人クラブ）】

区 分	4年度	3年度	比 較
豊川市	24日	3日	21日
蒲郡市	1日	4日	△3日
合 計	25日	7日	18日

【団体利用人数（老人クラブ）】

区 分	4年度	3年度	比 較
豊川市	496人	84人	412人
蒲郡市	15人	149人	△134人
合 計	511人	233人	278人

【利用状況】

区 分	4年度	3年度	比 較
多目的ホール	453件	449件	4件
陶芸室	60件	60件	—
研修室	77件	81件	△4件
創作活動室	60件	57件	3件
実習室1	73件	44件	29件
実習室2	60件	64件	△4件
市民健康広場	46件	54件	△8件
合 計	829件	809件	20件

【利用人数】

区 分	4年度	3年度	比 較
多目的ホール	10,458人	9,739人	719人
陶芸室	634人	722人	△88人
研修室	1,591人	1,588人	3人
創作活動室	228人	250人	△22人
実習室1	587人	336人	251人
実習室2	309人	446人	△137人
市民健康広場	1,901人	2,090人	△189人
合 計	15,708人	15,171人	537人

(2) 講座事業

各種講座を開催し、高齢者・障害者の生きがいづくり、世代間交流等に努めました。

区 分	4年度	3年度	比 較
世代間交流陶芸講座	10人	10人	—
太極拳講座	5人	16人	△11人
社交ダンス講座	14人	14人	—
絵てがみ講座	4人	中止	—
己書講座【新】	14人	—	—
一緒に踊ろうフォークダンス【新】	23人	—	—

※機械設備や電気設備の更新工事に伴い、入浴利用を中止した期間

- ・令和4年10月11日（火）から令和4年11月13日（日）
- ・令和4年12月13日（火）から令和4年12月18日（日）
- ・令和5年 1月31日（火）から令和5年 2月19日（日）

13 障害者居宅介護等事業

(1) 障害者居宅介護等事業

障害者総合支援法における指定事業所として、身体障害あるいは知的障害、精神障害のある方の在宅生活を援助し、福祉の向上に努めました。

① 居宅介護等

区 分	4年度	3年度	比 較
利用者実数	23人	25人	△2人
延派遣回数	2, 144回	2, 539回	△395回
延派遣時間数	2, 614時間	2, 839. 75時間	△225. 75時間

② 移動支援（地域生活支援事業）

区 分	4年度	3年度	比 較
利用者実数	4人	7人	△3人
延派遣回数	121回	145回	△24回
延派遣時間数	121. 5時間	125時間	△3. 5時間

(2) 重度視覚障害者に対する同行援護事業

障害者総合支援法における指定事業所として、重度の視覚障害のある方の在宅生活を援助し、福祉の向上に努めました。

区 分	4年度	3年度	比 較
利用者実数	10人	11人	△1人
延派遣回数	432回	524回	△92回
延派遣時間数	804. 5時間	841時間	△36. 5時間

(3) 新型コロナウイルス感染者等生活支援事業

豊川市と連携し、新型コロナウイルスの感染による自宅療養または濃厚接触による自宅待機を保健所から求められ、生活に必要な食料品や日用品等の調達にお困りの方に買物を行い自宅にお届けするサービスを行いました。

【対応件数、延実施回数】

区 分	4年度	3年度	比 較
対応件数	65件	14件	51件
延実施回数	83回	16回	67件

14 相談支援事業

障害のある方やその家族などへ総合的な相談支援を行うとともに、福祉サービスの利用援助、社会資源を活用するための支援、関係機関との連絡調整を行いました。

【相談件数】

区 分	4年度	3年度	比 較	
相談件数	1,577件	1,711件	△134件	
障害種別相談数	110人	109人	1人	
内 訳 (重複含)	身体障害	25人	26人	△1人
	知的障害	52人	51人	1人
	重症心身障害	2人	3人	△1人
	精神障害	35人	33人	2人
	発達障害	5人	7人	△2人
	高次脳機能障害	1人	1人	－
	難病	3人	2人	－
	児童	6人	9人	△3人

【支援方法】

区 分	4年度	3年度	比 較
訪問	710回	647回	63回
来所	37回	39回	△2回
電話	228回	328回	△100回
個別支援会議	116回	117回	△1回

【サービス等利用計画】

区 分	4年度	3年度	比 較
計画作成件数（障害者）	70件	76件	△6件
計画作成件数（障害児）	6件	8件	△2件
地域移行支援	2件	2件	—
モニタリング（障害者）	264件	230件	34件
モニタリング（障害児）	14件	20件	△6件
新規	4件	9件	△5件
終了	8件	10件	△2件
延べ計画担当件数（年間）	105件	107件	△2件

15 障害者基幹相談支援センター事業（市受託事業）

豊川市から基幹相談支援センター事業の委託を受け、総合的、専門的な相談支援を実施するとともに、地域の相談支援体制強化の取り組み、自立支援協議会の運営に関する業務等に取り組みました。

【支援方法】

区 分	4年度	3年度	比 較
訪問	306件	303件	3件
来所	236件	191件	45件
同行	84件	93件	△9件
電話相談	767件	626件	141件
メール（手紙）	2件	—	2件
個別支援会議	107件	115件	△8件
関係機関	616件	912件	△296件
その他	3件	1件	2件
合 計	2,121件	2,241件	△120件

【相談者】

区 分	4年度	3年度	比 較
本人	783件	844件	△61件
家族	369件	352件	17件
行政	170件	163件	7件
支援者	780件	873件	△93件
地域	14件	9件	5件
その他	5件	—	5件
合 計	2,121件	2,241件	△120件

【障害種別相談実人数】

区 分	4年度	3年度	比 較
身体障害	42人	48人	△6人
重症心身障害	2人	2人	—
知的障害	92人	75人	17人
高次脳機能障害	10人	13人	△3人
精神障害	131人	135人	△4人
発達障害	60人	48人	12人
難病	5人	5人	—
その他	29人	24人	5人
実人数合計 (内児童数)	371人 (68人)	350人 (60人)	21人 (8人)

【豊川市障害者地域自立支援協議会会議回数】

区 分	4年度	3年度	比 較
全体会	2回	2回	—
運営委員会	3回	3回	—
相談支援部会	11回	10回	1回
事務局会議	17回	18回	△1回
相談支援事業所会議	5回	6回	△1回
就労部会	2回	2回	—
こども部会	2回	2回	—
人材育成プロジェクト	2回	2回	—
医療的ケア部会	2回	2回	—

16 障害者生活介護施設事業（市指定管理）

指定管理者として、豊川市ゆうあいの里南障害者生活介護施設はなの和の管理・運営を行うとともに、常時介護を要する在宅障害者に対し、入浴・排泄・食事の介護や創作的活動機会の提供、地域との交流促進を図りました。

区 分	4年度	3年度	比 較	
利用者実数	22人	22人	—	
延利用者数	1,394人	1,463人	△69人	
入浴	一般浴	347人	382人	△35人
	特殊浴	919人	928人	△9人
送迎	2,528回	2,645回	△117回	

◆公益事業区分

17 地域包括支援センター受託事業（市受託事業）

(1) 地域包括支援センター受託事業

豊川市から地域包括支援センター事業を受託し、高齢者及びその家族が尊厳を保ちながら住み慣れた地域において最後まで生活できる環境を整えるため、切れ目のない在宅医療・介護連携体制の構築、介護予防事業の推進、多様な担い手が参画する支えあいの体制づくりを進めるとともに、高齢者のワンストップ相談窓口として対応できるように取り組みました。

また、地域包括支援センター及び出張所にコミュニティソーシャルワーカー兼生活支援コーディネーターを配置し、地域福祉活動の推進と地域における要援護者の相談・支援を一体的に行いました。

【プラン作成実績】

区 分		4年度	3年度	比 較
新 規	予防プラン作成	4 1 6 件	3 3 6 件	8 0 件
	総合事業プラン作成	2 7 7 件	2 6 9 件	8 件
	小 計	6 9 3 件	6 0 5 件	8 8 件
継 続	予防プラン作成	1 2, 5 9 3 件	1 1, 7 0 1 件	8 9 2 件
	総合事業プラン作成	6, 6 0 5 件	6, 5 6 2 件	4 3 件
	小 計	1 9, 1 9 8 件	1 8, 2 6 3 件	9 3 5 件
合 計		1 9, 8 9 1 件	1 8, 8 6 8 件	1, 0 2 3 件

【相談方法別実績】

区 分		4年度	3年度	比 較
相談方法	電話	2 0, 7 1 0 件	5 0, 2 3 6 件	△ 2 9, 5 2 6 件
	来所	3, 3 4 2 件	3, 4 9 7 件	△ 1 5 5 件
	訪問	1 3, 3 3 8 件	1 1, 6 4 6 件	1, 6 9 2 件
	その他	2 6 2 件	4 2 8 件	△ 1 6 6 件
	合 計	3 7, 6 5 2 件	6 5, 8 0 7 件	△ 2 8, 1 5 5 件

【総合相談実績】

区 分		4年度	3年度	比 較
総合相談	緊急対応	104件	149件	△45件
	住宅改修・福祉用具	3,215件	2,967件	248件
	施設利用	1,042件	965件	77件
	介護予防サービス	3,241件	2,990件	251件
	総合事業・一般介護予防	2,888件	2,925件	△37件
	地域支援事業	177件	114件	63件
	介護認定	4,568件	4,216件	352件
	自立支援	269件	106件	163件
	認知症	1,549件	1,837件	△288件
	若年性認知症	4件	40件	△36件
	見守り・安否確認	2,468件	2,151件	317件
	医療・介護連携	1,373件	1,298件	75件
	在宅介護	501件	356件	145件
	仲介・制度利用支援	1,776件	1,326件	450件
	一般問い合わせ	388件	245件	143件
	その他	504件	286件	218件
	合 計	24,067件	21,971件	2,096件

【申請代行件数】

区 分		4年度	3年度	比 較
申請代行	要介護認定申請(区分変更申請含む)	2,296件	1,790件	506件
	住宅改修申請	29件	42件	△13件
	合 計	2,325件	1,832件	493件

【権利擁護相談件数】

区 分		4年度	3年度	比 較
権利擁護	成年後見	130件	136件	△6件
	措置入所	11件	8件	3件
	虐待	128件	108件	20件
	困難事例	42件	74件	△32件
	消費者生活被害	12件	14件	△2件
	合 計	323件	340件	△17件

【サービス調整会議】

区 分		4年度	3年度	比 較
サービス検討会議	会議開催数	185回	188回	△3回
	事例検討数	702件	662件	40件

【包括的・継続的ケアマネジメント】

区 分		4年度	3年度	比 較
ケアマネ支援	個別支援	679件	399件	280件
	支援困難事例対応	73件	48件	25件
	ネットワーク構築	98件	98件	—
	会議	240件	165件	75件
	合 計	1,090件	710件	380件

【地区活動支援】

区 分	4年度	3年度	比 較
介護予防教室等	382回	70回	312回
ボランティア等人材育成	1,578回	1,643回	△65回
地区活動育成・支援	553回	489回	64回
グループホーム運営推進会議等	44回	42回	2回
合 計	2,557回	2,244回	313回

【地域ケア会議等件数】

区 分	4年度	3年度	比 較
個別ケア会議	15件	25件	△10件
地域ケア会議	8件	8件	—
地域ケア全体会議	2件	2件	—

【各種講座等の開催】

区 分	4年度	3年度	比 較
圏域別多職種協働研修	5回	5回	—
	167人	220人	△53人
介護支援専門員等資質向上研修	1回	1回	—
	35人	33人	2人
現任介護職員研修	1回	中止	1回
	18人		18人
家族介護者教室	2回	1回	1回
	44人	18人	26人
いきいきシニアスクール	3回	2回	1回
	51人	33人	18人

(2) 認知症施策推進事業

地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置し、認知症の方やその家族への支援を行いました。また、認知症の方とその家族、認知症サポーター等で構成されるチームオレンジの設置をめざし、認知症サポーターステップアップ講座を年2回開催しました。

区 分	4年度	3年度	比 較
認知症にかかる医療・介護との連携	62件	93件	△31回
認知症サポーター養成講座等	29回	9回	20回
介護者交流会	12回	12回	—
認知症に関する会議等への参加・協力	105件	63件	42件
認知症初期集中支援チーム員会議出席	12件	11件	1件

(3) 生活支援体制整備事業

各地域包括支援センター及び出張所に生活支援コーディネーター兼コミュニティーソーシャルワーカーを配置し、多様な地域社会資源を活用しながら生活支援・介護予防にかかるサービスの基盤整備を図りました。

① 地域のニーズと社会資源の状況の見える化、問題提起

生活支援コーディネーターが地域の事業所を訪問しながら、高齢者の生活に役立つ社会資源情報を収集し、情報の更新を行いました。

区 分	4年度	3年度	比 較
生活支援サービス情報提供書取得件数	11件	8件	3件

② 地縁組織等多様な主体への協力依頼などの働きかけ

地域福祉懇談会と第2層協議体を一体的に開催し、地域の課題の解決に向けた取り組みや、コロナ禍における地域福祉活動等について意見交換を行いました。

また、地域活動者に寄り添いながら、柔軟かつタイムリーな話し合いが行えるよう単独型の第2層協議体を実施し、随時、地域課題解決に向けた意見交換を行いました。(令和4年度より実施)

区 分	4年度	3年度	比 較
地域福祉懇談会(第2層協議体)	35地区	25地区	10地区
単独型第2層協議体	15地区	—	15地区

※第2層協議体とは、住民同士が地域の課題について話し合い、地域の中でできることを住民が主体となって考えていく場であり、厚生労働省がその取り組みを推進しています。

③ 生活支援の担い手の養成やサービスの開発

高齢者の在宅生活を支える生活支援サポーターの養成を目的として介護・生活支援サポーター養成講座を開催しました。また、養成講座修了者を対象としたフォローアップ講座を開催しました。

区 分	4年度	3年度	比 較
介護・生活支援サポーター養成講座	50人	83人	△33人
介護・生活支援サポーターフォローアップ講座	25人	22人	3人

(4) 重層的支援体制整備事業への移行準備事業

各地域包括支援センター及び出張所に配置したコミュニティソーシャルワーカー兼生活支援コーディネーターが、世代や属性によらない福祉の総合相談窓口として機能するとともに、多機関協働による包括的な支援を行い、重層的支援体制整備事業へ移行するための取り組みを推進しました。

ア 包括的相談支援事業

【件数】

区 分	4年度	3年度	比 較
電話	630件	488件	142件
来所	105件	120件	△15件
訪問	198件	191件	7件
合 計	933件	799件	134件

【対象者】

区 分	4年度	3年度	比 較
身体障害者	30件	210件	△180件
知的障害者	82件	26件	56件
精神障害者	634件	340件	294件
児童	110件	23件	87件
経済的困窮	319件	453件	△134件
社会的孤立	683件	—	683件
外国籍	68件	—	68件
その他	117件	71件	46件
合 計	2,043件	1,123件	920件

※高齢者に対する相談支援については、地域包括支援センター実績に計上。

【相談者】

区 分	4年度	3年度	比 較
本人・家族	426件	397件	29件
民生委員・福祉委員・地域住民	84件	71件	13件
福祉関係行政機関	60件	114件	△54件
福祉施設・各種事業団体	234件	119件	115件
学校・教育委員会	24件	—	24件
医療機関	36件	—	36件
その他	18件	63件	△45件
合 計	882件	764件	118件

【相談支援内容】

区 分	4年度	3年度	比 較
社協福祉サービス	22件	—	—
障害	451件		
児童	193件		
経済的困窮・就職困難	456件		
ひきこもり	169件		
外国籍	66件		
住まい	39件		
各種福祉保健制度	61件		
医療・保健	144件		
介護・施設入所	94件		
家族・地域関係	368件		
その他	31件		
合 計	2,094件		

イ 地域づくり事業

【件数】

区 分	4年度	3年度	比 較
電話	775件	829件	△54件
来所	401件	407件	△6件
訪問	234件	303件	△69件
活動出席	232件	174件	58件
その他	27件	33件	△6件
合 計	1,669件	1,746件	△77件

【相談支援団体】

区 分	4年度	3年度	比 較
町内関係団体	219件	97件	122件
地域福祉活動推進委員会	436件	515件	△79件
民生委員児童委員協議会	85件	80件	5件
老人クラブ	18件	20件	△2件
ふれあいサロン	536件	653件	△117件
会食配食ボランティア	31件	55件	△24件
ボランティア・市民活動団体	149件	88件	61件
福祉施設・団体	90件	57件	33件
企業・店舗	99件	169件	△70件
その他	6件	10件	△4件
合 計	1,669件	1,744件	△75件

【相談支援内容】

区 分	4年度	3年度	比 較
社協事業の紹介・説明・調整	964件	993件	△29件
各種福祉制度の紹介・説明	235件	226件	9件
福祉活動団体の組織化	159件	128件	31件
福祉活動団体の運営活動支援	1,091件	1,013件	78件
福祉人材の育成	121件	87件	34件
福祉の啓発	287件	214件	73件
地域交流の推進	341件	289件	52件
心理的援助	236件	214件	22件
各種機関・団体連絡調整	331件	235件	96件
協議体の設置推進	171件	243件	△72件
ネットワーク化の推進	41件	19件	22件
地域支援事業との連携	28件	33件	△5件
社会資源情報の受発信	156件	184件	△28件
地域ニーズの把握	147件	77件	70件
情報提供書の取得	6件	11件	△5件
その他	49件	64件	△15件
合 計	4,363件	4,030件	333件

ウ その他事業

区 分	4年度	3年度	比 較	
多機関協働 事業	相談件数	18件	42件	△24件
	重層的支援会議	5回	2回	3回
	重層的支援計画作成件数	7件	4件	3件
アウトリーチ等事業	11件	6件	5件	

※一部実績は、令和3年度から集計方法を変更しています。

18 成年後見支援センター事業（市受託事業）

豊川市から成年後見制度相談支援事業を受託し、判断能力が不十分な方の生活や財産を守り支援を行う「成年後見制度」の利用の促進に取り組みました。

また、成年後見制度を利用するための手続や申立てに関する相談支援を行うとともに、家庭裁判所の審判に基づき、適切な成年後見人等が見つからない者に対し、法人後見の業務に取り組みました。

【相談支援対象者】

区 分	4年度	3年度	比 較
認知症高齢者	759件	801件	△42件
知的障害者	159件	206件	△47件
精神障害者	183件	167件	16件
高次脳機能障害者	101件	74件	27件
その他・一般	8件	11件	△3件
合 計	1,210件	1,259件	△49件

【相談内容】

区 分	4年度	3年度	比 較
制度概要	118件	142件	△24件
申立て手続	120件	136件	△16件
判断能力・診断書・鑑定書	33件	39件	△6件
身上監護に関する事	503件	493件	10件
財産管理に関する事	492件	411件	81件
家庭裁判所への手続	47件	46件	1件
虐待・権利侵害	9件	7件	2件
債務・浪費	25件	28件	△3件
消費者被害	3件	—	3件
地域関係	9件	4件	5件
市長申立てに関する事	110件	138件	△28件
相続・遺産分割協議	9件	24件	△15件
任意後見	15件	7件	8件
後見人活動に関する事	21件	13件	8件
市民後見人育成	1件	—	1件
その他	39件	60件	△21件
合 計	1,554件	1,548件	6件

【法人後見受任数（累計）】

区 分		4年度	3年度	比 較
対象者	認知症高齢者	30件	27件	3件
	知的障害者	4件	4件	—
	精神障害者	4件	4件	—
	高次脳機能障害	4件	4件	—
	合 計	42件	39件	3件

【法人後見受任数（年度末現在）】

区 分		4年度	3年度	比 較
対象者	認知症高齢者	8件	9件	△1件
	知的障害者	4件	4件	—
	精神障害者	3件	3件	—
	高次脳機能障害	1件	2件	△1件
	合 計	16件	18件	△2件

【法人後見新規受任・終了件数】

区 分		4年度	3年度	比 較
新規受任		3件	7件 ※内3件は審判 確定前に死亡	△4件
終了		5件	5件 ※内3件は審判 確定前に死亡	—

【法人後見支援内容】

区 分	4年度	3年度	比 較
家庭裁判所への手続き	22件	33件	△11件
金融機関事務手続き	217件	225件	△8件
福祉サービス利用手続き	105件	132件	△27件
福祉サービス契約締結	13件	12件	1件
土地・不動産に関する手続き	1件	11件	△10件
住居に関する手続き	24件	19件	5件
遺産に関する手続き	1件	10件	△9件
年金・手当等の手続き	74件	35件	39件
入院・医療に関する手続き	15件	43件	△28件
株式・有価証券に関する手続き	—	8件	△8件
債権整理手続き	—	16件	△16件
保険に関する手続き	4件	—	4件
死後事務	46件	—	46件
本人面会	166件	114件	52件
その他	12件	61件	△49件
合 計	700件	719件	△19件

19 社会福社会館事業（市指定管理）

障害者福祉の推進とボランティア・市民活動の拠点機能等を目的とした豊川市社会福社会館を指定管理者として管理するとともに、本協議会の活動拠点として運営しました。

【利用件数】

区 分	4年度	3年度	比 較
機 能 訓 練 室	2, 537件	200件	2, 337件
視 聴 覚 室	14, 094件	597件	13, 497件
和 室	901件	149件	752件
研 修 室 1	2, 229件	503件	1, 726件
研 修 室 2	5, 213件	422件	4, 791件
研 修 室 3	2, 415件	437件	1, 978件
合 計	27, 389件	2, 308件	25, 081件

20 地域福祉センター事業（市指定管理）

地域住民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を図るため、指定管理者として東部・西部地域福祉センターの管理を行いました。

【健全育成事業利用人数】

区 分		4年度	3年度	比 較
児童図書室	東部	1, 265人	784人	481人
	西部	247人	179人	68人
	小計	1, 512人	963人	549人
児童室	東部	1, 265人	821人	444人
	西部	27人	35人	△8人
	小計	1, 292人	856人	436人
第1・第2介護支援室	東部	71人	52人	19人
第1研修室	東部	48人	76人	△28人
第2研修室	東部	17人	13人	4人
日常動作訓練室	東部	892人	853人	39人
	西部	1, 455人	1, 007人	448人
	小計	2, 347人	1, 860人	487人
教養娯楽室 ※西部：児童クラブ (R4. 5月～)	東部	118人	374人	△256人
	西部	73人	985人	△912人
	小計	191人	1, 359人	△1, 168人
ボランティア研修室	東部	452人	349人	103人
	西部	1, 150人	239人	911人
	小計	1, 602人	588人	1, 014人
集会室	東部	2, 770人	4, 147人	△1, 377人
ちびっこ広場	東部	1, 017人	1, 362人	△345人
	西部	210人	149人	61人
	小計	1, 227人	1, 511人	△284人
合 計		11, 077人	11, 425人	△348人

※西部地域福祉センターの教養娯楽室については、用途が変更（児童クラブとして市が管理）され、指定管理施設からはずれたため、令和4年4月分のみの実績を計上しています。

21 豊川市ボランティア・市民活動センター事業（市指定管理）

「とよかわボランティア・市民活動センターウィズ」の指定管理者として、地域住民が利用しやすい活動拠点を整備しました。また、ボランティア活動に関連する情報（募集、助成金案内、活動報告など）発信を行い、活動者への支援を行いました。

事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人豊川市社会福祉協議会